

## キウイフルーツほ場におけるキクビスカシバの発生を防ぎましょう！

令和元（2019）年にキウイフルーツのほ場において、キクビスカシバ（写真1、2）の発生が県内で初めて確認されました（[病害虫発生予察特殊報第1号](#)）。防除効果が高い4月中に薬剤散布を行い、本虫の発生を防ぎましょう。



写真1 キクビスカシバ幼虫



写真2 キクビスカシバ成虫

### 1 被害の特徴

キウイフルーツの新梢（一年生枝）や結果母枝（二年生枝）に幼虫が食入し、枝からフラスが排出されます（写真3）。幼虫に食入された枝では、伸長抑制や枯死が起きます。

前年、写真3のように、枝からフラスが出ていた場合は、ほ場内やその周辺で越冬している可能性があるため、特に注意が必要です。

\*類似の症状を示すコウモリガの幼虫は、比較的幅広い面積に糸でしっかりとフラスを綴るので区別可能です。



写真3 被害枝から排出されるフラス

### 2 防除のポイント

本虫の防除では、4月の幼虫ふ化時期に薬剤散布を行うことが効果的です。4月中にフェニックスフロアブル（4000倍、3回以内、収穫7日前まで、スカシバ類での登録（2020年3月23日時点））を散布し、キクビスカシバの発生を防ぎましょう。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11～2月
生活環	卵	幼虫ふ化	幼虫・蛹 キウイフルーツの枝に食入			成虫発生・産卵		卵・越冬	
対策		薬剤散布	被害枝の除去			交信かく乱剤設置			

図1 キクビスカシバの生活環と防除対策

詳細は、農業環境指導センター（Tel 028-626-3086）までお問合せ下さい。

病害虫情報発表のお知らせはツイッター「栃木県農政部（@tochigi\_nousei）」、農業環境指導センターホームページ（<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>）でもご覧になれます。